

一般社団法人で新組織設立

技能士個人が会員に

全国不動産コンサルティング協会連合会(全コ連)が6月26日、東京・杉並の「大幸ホ

ール」で設立総会を開いた。初代会長には東京都不動産登録者個人で、今年度中(10年5月31日まで)に5

の林直清氏(写真)が就任した。

00人の入会を目指す。全コ連会員の各都府県コンサルティング協会に所属しているコンサルティング技能士が来年3月末までに入会する場合は入会金(2万円)が免除される。

設立総会では、当面併存することになった全コ連と全コ協との関係などについて質問が出た。林会長は「今日、我々がここまで来れたのも全コ連があったからだ」と述べ、将来に向けてより望ましい関係を構築していく方針を明らかにした。また、全コ協への入会は下部組織である地方地区(大阪府地区など)を経由する規則としていて、同地区の運営は各都府県コンサルティング協会が行う。

ポ 社長 山本 治男氏

ド市場に逆風が吹き続ける今も、堅実経営で着実な歩み業。不動産流動化ビジネスに追い風が吹いていた03年に向けに優良な収益物件を供給する会社としてスタートしは金融景気の急変に对应するため事業モデルを大きく変

にその時点で棚卸資産の取得をストップしたことが、わが社が今生き残っている要因だ。運があったと思う」

上場すると増収増益が至上命題となる。日本の金融政策には一貫性がないとの指摘もある中、不動産

「大手だけではなく、日本は独立系やベンチャーが資本市場で育つていくことが重要だ。わが社

設立総会



設立総会であいさつに立った林会長は「01年の全コ連総会で法人化することを決めて以来、紆余曲折を経ながらもやっと実現することができた。これを機にコンサル技能の一層の研鑽に励み、業界に新風を吹き込む活力ある団体になりたい」と抱負を述べた。